



平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月7日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ノーリツ
コード番号 5943 URL <http://www.noritz.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長兼代表執行役員 (氏名) 國井 総一郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 (氏名) 金田 友三郎
四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

TEL 078-391-3361

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績（平成25年1月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	134,025	2.6	4,471	11.8	5,266	16.1	3,174	12.7
24年12月期第3四半期	130,688	0.7	4,000	6.2	4,535	11.6	2,817	34.2

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 9,066百万円 (145.5%) 24年12月期第3四半期 3,693百万円 (140.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	66.39	—
24年12月期第3四半期	58.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第3四半期	173,001	102,836	58.0
24年12月期	159,910	92,724	58.0

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 100,299百万円 24年12月期 92,718百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	14.00	—	16.00	30.00
25年12月期	—	15.00	—		
25年12月期 (予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成25年12月期の連結業績予想（平成25年1月1日～平成25年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	192,000	2.6	9,500	7.5	10,100	2.9	6,200	3.7	129.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
 新規 1社（社名）櫻花衛厨(中国)股份有限公司、除外 1社（社名）
 （注）詳細は添付資料P. 3の「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年12月期3Q	50,797,651株	24年12月期	50,797,651株
② 期末自己株式数	25年12月期3Q	2,978,301株	24年12月期	2,977,028株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年12月期3Q	47,820,146株	24年12月期3Q	47,821,012株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

業績予想に関しましては添付資料のP. 2をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 企業結合等関係	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(当期の経営成績)

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日銀による金融緩和政策や政府による経済政策への期待感から円安・株高基調が継続し、企業投資や個人消費の一部に緩やかな回復傾向がみられました。しかしながら、アメリカの財政問題や中国をはじめとする世界経済の減速懸念、円安による輸入品の価格上昇など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

国内住宅設備業界におきましては、建設労働者の不足や建設資材の価格上昇などの影響が懸念されるものの、住宅ローン減税やフラット35Sの金利優遇政策のほか、2014年4月の消費税率引き上げをにらみ、需要が高水準で推移しており、新築住宅着工戸数は昨年を上回る環境下にあります。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画「Vプラン16」に基づき、国内・海外の両事業にて業績拡大を図るため、成長事業の育成やコスト競争力の強化などを重点課題として、高効率給湯器・太陽光発電システム・コージェネレーションシステムなどの拡販に取り組んでまいりました。

この結果、第3四半期連結累計期間の業績は売上高1,340億25百万円（前年同期比2.6%増）となりました。利益面につきましては、営業利益が44億71百万円（同11.8%増）、経常利益が52億66百万円（同16.1%増）、四半期純利益が31億74百万円（同12.7%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 国内事業

当第3四半期連結累計期間の国内事業セグメントは、売上高が1,222億70百万円（前年同期比0.6%減）、セグメント利益が32億98百万円（同13.1%減）となりました。

温水空調分野では、新設向け需要が好調な反面、取り替え需要は伸び悩み売上高は減少しました。しかし、当社グループでは、環境・省エネ意識の高まりに応えるため、ふろ給湯器の主力商品「GT-C52シリーズ」を中心に、高効率ガス給湯器「エコジョーズ」、高効率石油給湯機「エコフィール」などの潜熱回収型給湯器の提案を強化し、販売台数を伸ばしました。

厨房分野では、節電意識の高まりを受け、引き続きガスビルトインコンロの需要が好調でした。美しく上質な素材とワンランク上の機能を備えた新商品「スタイリッシュブリック レボア プレミアム」が好評で、ガスビルトインコンロの販売台数を伸ばしました。

新エネルギー分野では、取扱店の拡大や他分野商品とのセット販売に加え、高出力・高効率の太陽電池モジュールの投入効果もあり、太陽光発電システムの販売台数を伸ばしました。

住設システム分野では、間口サイズを10mm刻みで調整できる点が好評でリフォームに最適なシステムキッチン「ベステ」と洗面化粧台の販売が好調でしたが、システムバスの販売台数は前年同期を下回る結果となりました。

② 海外事業

当第3四半期連結累計期間の海外事業セグメントは、売上高が183億98百万円（同40.3%増）、セグメント利益が11億73百万円（同465.9%増）となりました。中国では、政府による不動産価格抑制策の影響を受けているものの、一定のシェアを獲得している上海市以外への販売エリア拡大や新規チャネル開拓などの取り組みにより、売上高が大幅に増加いたしました。米国では、住宅着工・住宅販売の回復など経済環境の好転などを背景に、環境配慮商品が販売台数を伸ばし、売上高が増加いたしました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産残高は、1,730億1百万円（前連結会計年度末比130億90百万円増）となりました。流動資産は受取手形及び売掛金が減少したこと等により961億31百万円（同49億49百万円減）となりました。また、固定資産は投資有価証券が増加したこと等により768億69百万円（同180億40百万円増）となりました。

負債は短期借入金が増加したこと等により701億64百万円（同29億78百万円増）となり、少数株主持分を含めた純資産につきましては1,028億36百万円（同101億12百万円増）となりました。この結果、自己資本比率は58.0%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成25年2月12日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結会計期間において、Sakura(Cayman)Co.,Ltd.の株式を取得したことにより、同社とその子会社である櫻花衛厨(中国)股份有限公司等5社を連結の範囲に含めております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,944	23,049
受取手形及び売掛金	52,304	45,847
有価証券	6,795	1,109
たな卸資産	11,980	18,489
その他	6,174	7,775
貸倒引当金	△117	△139
流動資産合計	101,081	96,131
固定資産		
有形固定資産	29,999	35,074
無形固定資産		
のれん	—	6,428
その他	2,281	3,122
無形固定資産合計	2,281	9,550
投資その他の資産		
投資有価証券	20,619	27,163
その他	6,298	6,053
貸倒引当金	△369	△972
投資その他の資産合計	26,548	32,244
固定資産合計	58,829	76,869
資産合計	159,910	173,001
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,531	34,215
短期借入金	2,016	3,159
未払法人税等	2,158	762
賞与引当金	1,824	2,934
役員賞与引当金	35	—
製品保証引当金	662	872
製品事故処理費用引当金	49	23
その他	12,949	13,778
流動負債合計	53,228	55,745
固定負債		
退職給付引当金	9,199	9,165
役員退職慰労引当金	51	42
製品保証引当金	307	750
その他	4,399	4,460
固定負債合計	13,957	14,418
負債合計	67,185	70,164

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,167	20,167
資本剰余金	22,956	22,956
利益剰余金	53,633	55,326
自己株式	△5,081	△5,083
株主資本合計	91,677	93,367
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,259	6,033
繰延ヘッジ損益	—	△18
為替換算調整勘定	△217	916
その他の包括利益累計額合計	1,041	6,932
少数株主持分	5	2,537
純資産合計	92,724	102,836
負債純資産合計	159,910	173,001

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	130,688	134,025
売上原価	93,555	95,350
売上総利益	37,133	38,674
販売費及び一般管理費	33,132	34,203
営業利益	4,000	4,471
営業外収益		
受取利息	189	196
受取配当金	218	254
受取賃貸料	159	125
為替差益	—	246
その他	310	282
営業外収益合計	877	1,105
営業外費用		
支払利息	32	18
固定資産賃貸費用	87	80
為替差損	34	—
その他	188	210
営業外費用合計	342	310
経常利益	4,535	5,266
特別利益		
固定資産売却益	—	462
土地使用権売却益	—	13
投資有価証券売却益	21	2
特別利益合計	21	478
特別損失		
固定資産処分損	99	215
投資有価証券評価損	232	—
減損損失	—	79
貸倒引当金繰入額	—	582
退職給付費用	—	259
厚生年金基金脱退一時金	—	133
製品事故処理費用	58	—
工場再編損失	—	95
その他	0	—
特別損失合計	390	1,366
税金等調整前四半期純利益	4,166	4,378
法人税、住民税及び事業税	1,911	1,866
法人税等調整額	△562	△662
法人税等合計	1,348	1,203
少数株主損益調整前四半期純利益	2,817	3,175
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△0	0
四半期純利益	2,817	3,174

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,817	3,175
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	881	4,774
繰延ヘッジ損益	29	△18
為替換算調整勘定	△35	1,134
その他の包括利益合計	876	5,891
四半期包括利益	3,693	9,066
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,693	9,065
少数株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内事業	海外事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	120,141	10,547	130,688	—	130,688
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,831	2,563	5,394	(5,394)	—
計	122,972	13,110	136,083	(5,394)	130,688
セグメント利益	3,793	207	4,000	—	4,000

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内事業	海外事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	118,819	15,205	134,025	—	134,025
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,450	3,192	6,643	(6,643)	—
計	122,270	18,398	140,668	(6,643)	134,025
セグメント利益	3,298	1,173	4,471	—	4,471

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「海外事業」セグメントにおいて、Sakura(Cayman)Co.,Ltd.等の株式取得時における原価が取得した資産および引受けた負債に配分された純額を上回ったため、その超過額をのれんとして計上しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては64億10百万円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 企業結合等関係

(株式取得による企業結合)

Sakura(Cayman)Co.,Ltd.の株式取得による櫻花衛厨(中国)股份有限公司等の子会社化

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業等の概要

①被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称: Sakura(Cayman)Co.,Ltd.

事業の内容: 給湯器等の製造・販売を行う櫻花衛厨(中国)股份有限公司株式(90%)の間接的な保有

②被取得企業が直接的に保有する子会社の概要

対象企業の名称: Sakura China Holdings(Hong Kong)Company Limited

事業の内容: 給湯器等の製造・販売を行う櫻花衛厨(中国)股份有限公司株式(90%)の直接的な保有

③被取得企業が間接的に保有する子会社の概要

対象企業の名称：櫻花衛厨(中国)股份有限公司

事業の内容：給湯器、ガスコンロ、レンジフード及びその他の厨房機器、サニタリー設備、キッチン・サニタリーの電気製品及びその部品、ならびにキッチン家具、厨房設備、サニタリー家具等の家庭用家具・設備の生産。自社生産商品の販売及び自社製品に対する修理、据付等のアフターサービスの実施。企業が生産する商品と同種の製品の卸売及び輸出入業務への従事。

(2)企業結合を行った主な理由

当社は中国をグローバル戦略上の重要性、市場規模及び今後の市場成長性、当社製品の販売拡大可能性の観点から、重点エリアと位置付けており、同地域において事業基盤を確保・拡大することが当社の長期的な成長に資するとの判断から、当該株式を取得いたしました。

(3)企業結合日

平成25年7月22日

(4)企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5)結合後企業の名称

変更はありません。

(6)取得した議決権比率

① Sakura (Cayman) Co., Ltd. 55%

② Sakura China Holdings (Hong Kong) Company Limited 55% (うち間接保有55%)

③ 櫻花衛厨(中国)股份有限公司 55.61% (うち間接保有49.5%)

※櫻花衛厨(中国)股份有限公司の少数株主より、同社株式の6.11%を取得しております。

(7)取得企業を決定するに至った主な根拠

対価の種類が現金であるため、当該現金を交付した当社を取得企業としております。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

平成25年9月30日をみなし取得日としているため、四半期連結損益計算書については、被取得企業の業績は含まれておりません。

3. 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価	9,769百万円
取得に直接要した費用	285百万円
取得原価	10,055百万円

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却の方法及び償却期間

(1)発生したのれん金額

6,410百万円

なお、のれん金額は取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(2)発生原因

取得原価が取得した資産および引受けた負債に配分された純額を上回ったため、その超過額をのれんとして計上しております。

(3)償却の方法及び償却期間

10年間にわたる均等償却